

京都中央チャペル 週報

50th Anniversary!!

Miracles

New Creation Church Weekly Report since 1997

ἐκκλησία

2007年9月9日 №.548

50周年記念誌

主任牧師 藤林いざや

今月は特別な月です。50周年記念式典が開かれます。24日(祝)は万障繰り合わせて集いましょう。そして、主の恵みの御業を共に拝し、感謝を捧げようではありませんか。

取り分け、明確にこの時浮き彫りになる御業があります。記念誌です。この日に向けて、原稿が集められました。対外的な原稿も数多くあります。特に、京都福音教会で救われ、各地で活躍されている先生方の生々しい証は、心を打つこと間違いありません。百の教会、百の牧師・宣教師のヴィジョンに燃えて献身し、自らの生涯を投げ打って生き抜いて来られた先生方です。心から尊敬します。その歩みの上に、現在があることを覚えます。

また、原稿の後半は兄弟の証です。本部教会の証があり、京都中央チャペルの証が纏められています。就中、京都福音教会の初期に救われた兄弟の証は、味わい深く、感動を覚えます。同時に、最近救われてきた方々、また、色んな中で加えられた兄弟の証も、瑞々しさがあり、これまた感動します。どうにも、感動無くしては読めない最高の本です。

自画自賛ですが、お許し下さい。本当に素敵なのですもの。

そして、京都福音教会ならではの部分は、歴史です。総計で50頁になるでしょうか。

50年の歴史ですから当然のようですが、色んな記念誌を拝見しましても、

意外と、余り詳細に記録しておられる教会は少ないのです。でも、初代牧師の藤林邦夫師が記録魔でしたから、割合に色んな情報が明確に残っているのです。それを藤林コト師が抜粋されました。人生を共にしながら、喜怒哀楽を超えてきた足取りです。是非、丁寧に拝読なさってください。きっと、色んな感動が浮き彫りになります。

更に、40年間分を25頁ほどに纏めたのですが、ここ10年間は二つの教会が纏めたものですから、歴史としても公的な記録が多いこともあり、二つ合わせて25頁ほどになりました。是非、京都中央チャペルの兄弟は本部教会の足取りを丁寧に読んでみて下さい。きっと、どういう10年を過ごして来られたのか、良く分かります。同時に、証の部分で小平元昭師がどのような思いで教会形成をされてきたのかも、見えてくることでしょう。

小平師曰く、自分は藤林邦夫師がなさっていたことを、そのまましています、と。今回の題名も、藤林邦夫師の声が小平師の脳裏に響き、こだましているそうです。藤林邦夫師はカミソリのような、という形容を、そのままお使いになって、力説されていました。

大生は息子ですから、もう少し色んな藤林邦夫師を知っています。ですから、そういう面ばかり出ないこともよく分かります。でも、小平師にはそう響いていたのだな、ということもよく分かるのです。そして、唯一の牧師は、小平師にとって藤林邦夫師だけだったのだ、ということも、浮き彫りになっているのです。年譜は丁寧に味わいましょうね。

最後にデータを入れました。京都福音教会におかれていた聖書学院の卒業生の一覧、受洗者の年度別推移表、受洗者積算表、そして、礼拝出席者総数の推移表です。浮き彫りになるのは、リバイバルと称される時期は、確かに急勾配になっています。で、その後京都福音教会は、確かに伝道に伝道を積み重ねて50年過ごしてきたのだ、ということが分かります。多少、受洗者数の変動はあります。でも、積算を見てハッキリします。登り勾配は変わりません。着実に伸びているのです。

記念誌は確かに記念の石になりました。脱稿しました。刷り上がりをお楽しみに！

